

◎星に願いを

ストリートチームと同様、事前に星川夜市にて星形の用紙に願い事を記入してもらい、実際に集まった用紙を傘に貼り付ける作業を行った。展示方法については少しでも街の方々に関わってもらおうという願いを込めて、商店街で余っている置き傘を回収し使わせてもらうことになった。

◎実際の様子



◎今後の取り組み

- 川べりでのお茶会や手作り魚を泳がせるなど 川を日常に取り入れながら楽しむ社会実験
- 川の清掃活動(いまある活動に積極的に参加)
- 一緒にまちを考える場づくり、仲間づくり

ゲストアドバイザー スライドレクチャー 永田賢一郎

最終回は永田氏のレクチャーが行われた。「その街に住みながら地域に開いた活動をしていく」をテーマにレクチャーを行った。



IV アンケート結果

このワークショップに参加してみた感想をお書きください（良い点・悪い点含め）

- 熊谷をもっと好きになった。暖かい時期にしたい
- 街を元気にしたいメンバーと知り合う事ができ非常によかった
- 面白かったです。いろいろな方に会えてほんとによかった
- 参加者が多くて感心が多くて驚いた
- 部活みたいでとっても楽しかったです。これがはじめの一步。これからも妄想WSに参加していきたいです。
- アイデンティティの少ない埼玉県人だが、そのきっかけの役割の場を作っていただき、ありがたかったです。
- 新しい関係ができたことが一番よかったです。

もっと知りたかった情報はありましたか？

- 星川の歴史をもっと知りたい
- 隣のチームの方の顔と名前が一致しない
- 街の空き家、空き地の活用の具体的なアイデア
- まだまだ自分の知らない熊谷があると思うので、レアな情報が知りたいです。例えば江戸時代の宿場町としての熊谷の賑わい。町おこしのヒントになるかも。

今後のどのようなワークショップがあれば参加したいですか？

- やはりまちづくりに関して
- もっと好き勝手やれるワークショップ
- 地域のコミュニティづくり
- 熊谷の建物巡り、歴史散歩など。
- どのようなものでも参加したいです。

ご自由にお書きください（また今後ワークショップに紹介したい人がいれば教えてください）

- まだまだ盛り上がる熊谷だと思うので、熊谷が楽しみです。
本当に楽しく参加する事ができ感謝しています。引き続きよろしくお願いいたします。
- 今後もよろしくお願いします！！
- 星川をメインテーマに活動が続けると良いと思います。
- 熊谷の街が素敵で、住みやすい街になるといいな！！そのためになにかしたいし、自らアクションを起こせばいいなあ！！
- 通りかかって横目で見て「なんだろう？」「私もやりたいな」って感じる人もいると思うので、FBなど上手く巻き込む仕組みがあるといいのでは。と思います。（FB以外でも良いですが、知識がないので）
- 仲間でも参加したい人はいます。なので皆繋がれると最高ですね！！個人的に大学生をもっと巻き込みたいです。

■各種掲載記事

■日本経済新聞 2020年12月22日

まちづくりワークショップ、埼玉・熊谷で開催

埼玉 中川一之也
2020年12月22日 18時52分



埼玉県熊谷市で14日、熊谷駅北口の整旦通り沿いのまちづくりについて考えるワークショップが開かれた。まちに活気を取り戻そうと空き店舗を改装したり通りを拡張したりしてこれまで議論したアイデアを形にした。

「まち・未来・ワークショップ」はまちづくり関係者（町会）が主催し、まちづくりのコンサルティングを申請するコトラボ（熊谷市）が運営を担った。計4回の連続開催で、市民を中心にお客入が参加。地元建設業もコーディネーターとして関わり、来月の2月にはまち歩きやまち歩きツアーを通して課題や改善策を話し合った。



14日、熊谷市でまちづくりワークショップが開かれた。参加者が意見交換している様子。

14日の最終日はテーマごとに3グループがアイデアを交換させた。約2年前から実施していた熊谷市のまち歩きツアーをきっかけに、まち歩きツアーをきっかけにまち歩きツアーを実施するスペースに生まれ変わった。今後は探検隊を50センチメートルほどの区画に分けて探し出し、借り手があすの本を展示できる場所として大学生を中心とする予定だ。空き店舗のオーナー、日南内美さんは「幅広い年代の人が集まれる場所になってほしい」と話す。

駅前でほかの人々が集っていた部屋を取り戻そうと、熊谷市の駅前に集が復活された。このまま進めたいと、コトラボの代表者は「今回が最大の成果だがこれからはじまり。今後もアイデアを形にしていきたい」と参加者に呼びかけた。



■noteを介した情報発信

熊谷 街・妄想・ワークショップ00回-事前説明会-レポート
https://note.com/kumagaya_ws1/n/n22ef553b8078

熊谷 街・妄想・ワークショップ01回-エリアの価値を再考してみよう
https://note.com/kumagaya_ws1/n/n3afc4f14e630

熊谷 街・妄想・ワークショップ02回-エリアの余白を妄想してみよう
https://note.com/kumagaya_ws1/n/nb36b413d83c0

熊谷 街・妄想・ワークショップ03回-妄想を形にしてみよう
https://note.com/kumagaya_ws1/n/n4c831cefe2e4

熊谷 街・妄想・ワークショップ最終回
https://note.com/kumagaya_ws1/n/n7fcaf184c08d



■WS参加者のブログ投稿



事前説明会



1 回目WS



2 回目WS



3 回目WS



4 回目WS

■映像での発信



1 回目WS



2 回目WS



3 回目WS



4 回目WS

■今後に向けて ワークショップ後の活動

ワークショップ全4回が終了した後も、各チーム自発的にプロジェクトが継続しています。オンラインオフラインで打合せを重ね、下記のような取り組みが行われています

太原堂の活用

ワークショップの空き家班をメインにchoco ami（ちょこあみ）という名のイベントを開催。

また、常設利用としてのbook apartmentにおいては、本棚を使用したいという希望者が現れ、近々内装の一部をリノベーションすることになっている。猫に限定したいろいろな種類の本をネットで売っており、イベント出店もしている市内在住の女性。



choco ami（ちょこあみ）

～眠っていた糸に ちょこっと魔法かけました～

2019年に閉店し眠っていた毛糸屋さん・太原堂を、再び毛糸で彩るワンデーショップ「ちょこあみ」。太原堂に残された毛糸を主に使った作品の展示販売や、毛糸の販売、バレンタインにちなんだ焼き菓子などを販売します♪

毛糸のタッセルづくりWSも開催！ぜひ遊びに来てね！



原口商店の2階部分の活用

シェアカフェの上部階に新たにシェアオフィスが誕生。エイエイオーが主催としてオフィスを運営。空き家活用としてプロジェクトをスタート。



みかんビルでWS参加者メンバーがシェアサロンを運営



市役所通りに面したみかんビルをエイエイオーの白田氏がプロデュースし、シェアサロンが2021年2月にオープン。その運営をワークショップに参加していた女性陣たちが運営するようになっている。

星川夜市の快適性を高めるために、電灯柱部分に設置できる即席カウンターテーブルを作成

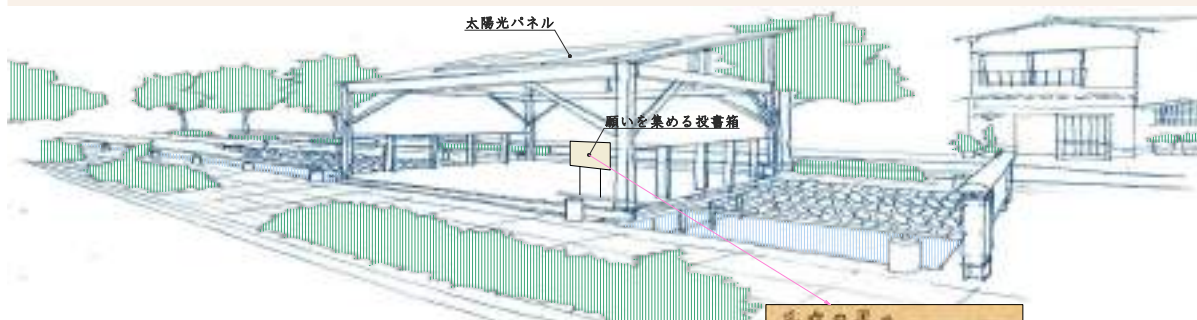
星川夜市で行った夜市掲示板”星に願いを”で集められた意見を集約し、星川夜市で利用できる飲食用のテーブルの作成をワークショップ形式で開催。市役所への許可を経て、イベント時に設置し即席テーブルとして活用する形を計画。6テーブルを製作する予定。3/27にワークショップを開催。



星川東屋のソーラーパネル設置計画（構想・妄想）

現段階では、計画のみではあるが、普段あまり使われていない河床スペースの有効活用を行うために、屋根部にソーラーパネルを設置し、東屋のスペースや星川沿いで電気を活用し、利便性の工場やライトアップなどで雰囲気作りを行う構想が水辺班で計画されている。ソーラーパネルなどを用意する財源の確保や、各所管との調整など多くの課題が山積しているため、次年度以降での動きとなる。

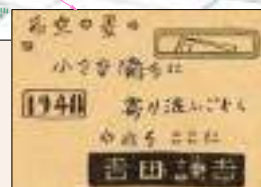
かわどこのやねに太陽光パネルを乗せてみる



かわどこは、その中心を担うハブのような役割を担ってもらいたいと思っています。電源を供給してくれるかわどこは、星川にあり、電気を灯すだけではなく、寒い時期にはモバイル電気膝掛けや、はたまたモバイルこたつなんかに電源を供給してくれ、一年を通して人々の日常を楽しく演出してくれるかもしれません。

星川のことを考えている私たちは星川がもっともっと自分たちの生活に寄り添った存在であつたらいいなと思って、こんなを思い描いてみました。

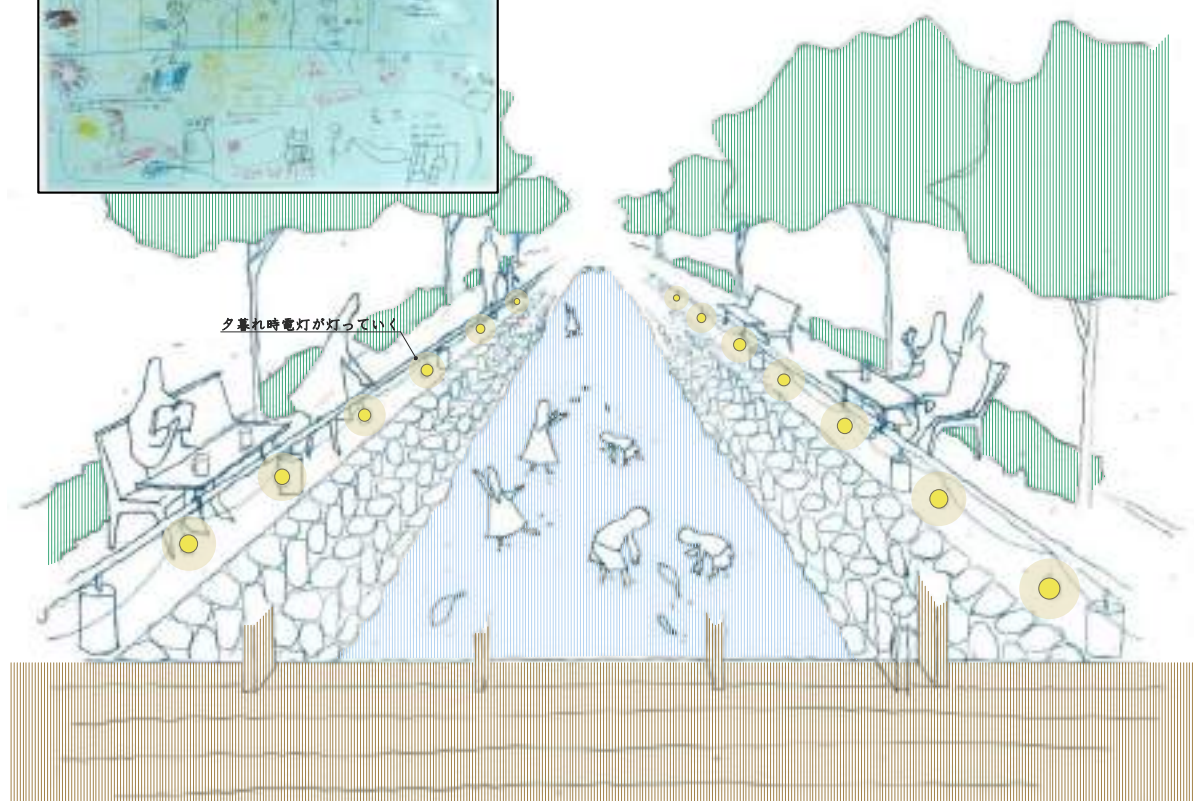
将来像



“願いを集める投書箱”イメージ

吉田謙吉の句などを添えてみる
(金子兜太さんに読んでもらったほうがよかったな。)

“星川を日常に”
わらべうたを歌いながら、子どもたちは水の中で魚を追いかけてたりしながら、遊んでいます。
護岸では、近くのお店でテイクアウトした飲み物や食べ物を持ち手に大人たちが見守っています。
夕刻近く、いつのまにかぼんぼんと灯りだした電灯にさそわれ、テイクアウトしたつまみを片手に、ついでにもう片方の手には缶ビール。一日の仕事を終えたおじさんが、遊びつかれた子どもたちを横目に、まるで一日の疲れを洗い流すかのようにビールを飲み始めます。



星川の河床清掃

地元商店街とのコラボ企画で、河床の清掃を行う。既存の地域コミュニティに積極的に潜り込み、星川を考える人の輪のなかに新しい風を勝手に吹かせるという目論見。

日時：令和3年3月27日（土）10:00～ 鳥金前 星川の東屋に9:30集合

※午前で終了

※※雨天中止

WS水路班の目標「星川を公園化する」ためには星川の清掃活動をはじめ、地域の方とコンタクトを取っていくことは欠かせません。

ガラス製作ワークショップのみのご参加や星川清掃のみのご参加、両方参加など、熊谷の日常を盛り上げるための皆さんの積極的なお力添えをお待ちしております！

応募方法：参加希望者はFB上か、引き続き森さん宛、または私（真島）宛までご返信ください。

参加費：もちろん無料。

持ち物：もしあれば長靴、軍手、星川をきれいにしたい気持ち。

上記のような自発的な動きを踏まえ、この動きを継続的な動きへとしていくこと、そして、より大胆で大きな動きへと進化させていくことで地域の環境が変化し、本当の意味でのリノベーションまちづくり、エリアリノベーションになっていくのではないかと考えています。

そのためには、今後も今回のようなワークショップを行ないながらテコ入れを行う必要があると考えおり、また、自走に向けた財源や体制づくりが今後の課題となっています。

■ゲストアドバイザーからのコメント

濱西邦和氏より



・その街の参加者がワークショップを通じて、『自身が暮らす街を自分たちで、より良くしたい』という意識が醸成され、終了後も様々な活動を開始できていることは、今回のワークショップの大きな成果だと感じている。

・このようなイベントを通じて、知り合うことがなかった住民同士が、繋がりチームビルディングができたことで、一人では躊躇しがちな、行動の第一歩をとることに対して、メンタルバリエーションが少なくなったことも大きな功績である。

・街を良くしていくためにも、今後も継続して参加者がリーダーシップをとりながら、より多くの住民を巻き込み、街づくりに関わり、行動していくことが期待出来る。

永田賢一郎氏より



ワークショップで最も印象的だったのは参加者の多さと幅広さ、そしてコミュニケーションの活発さでした。様々な職能、得意分野、経験が重なることで新しい視点や活動が生まれます。地域を知る以上に、「地域の人を知る」という事がワークショップの最大の目的なのではないでしょうか。誰と、どこで、何をしよう？と考えれば街は楽しめます。ぜひ、集まることの楽しさを忘れずに、継続的な活動をこれからも行って欲しいと思います！

原大祐氏より



今回のワークショップを通してわかったこと、見えたことがあるのではないのでしょうか。

やってみることの大切さや継続するための事業性を考えること、エリアの価値をあげることを意識するとか。単に目新しいことをすることをしたり継続性のない単発的な取り組みはできるだけ避けて欲しいところです。思うのですがワークショップのいいところはみんなでやるということです。

講師の話の聞いたり、みんなで意見をぶつけ合う。そこには自分では思いもよらなかった気づきや学びが多くあるわけですが、それより重要なことはまちづくりに対して一定のリテラシーを持った固まりができることなんじゃないかと思います。

そういった固まりを少しずつ大きくしていくことが地域にとっての価値になるんじゃないかと僕は思っています。

是非このようなワークショップを継続的に行きまちを想う当事者を増やしていくこと、アクションが狭いエリアで同時多発的に行われていくことを望みます。そうするとかなりドライブ感があって面白いまちになるんじゃないかと思います。

■周辺地域からの声

また、周辺エリアからもまちづくりを行なっているプレイヤーから下記のような声が届いてきており、この分野に精通したプレイヤーからも一定の評価をいただいております。

寄居でまちづくりを行っている方から、今回のワークショップについて相談あり。どのようにしてこのようなチームが出来上がったのか自分たちの地域でも、このようなチーム作りがしたいとの意見。また、籠原でも同じようなチームづくりができないかとの相談も。

埼玉県から県北の商店街を対象としたワークショップのコーディネータの依頼要請。本ワークショップをイメージしつつ、地域資源の掘り起こしとそれを活用したプロジェクトづくりやプロジェクトを行うチームづくり、エリアとしてのビジョンづくりなどを目指して企画を行っています。開催日：2/17,3/10,3/17の3回で実施。

■次年度に向けての構想

・考える場 から 実験する場へ

今年度の妄想を主軸としていたワークショップから、次年度は小さな取り組みを社会実験的に行なっていく動きを主軸にワークショップの組み立てを行えればと考えています。通常のPDCAサイクルのように、同じプロジェクトをサイクルを通して高めていくことも重要ですが、様々なDoを行なっていく中で、共感を呼び、持続できるようなDoを事業へと引き上げ、地域独自のライフスタイルに繋げていくことができればと考えています。

・WSを含めた大きな理想像

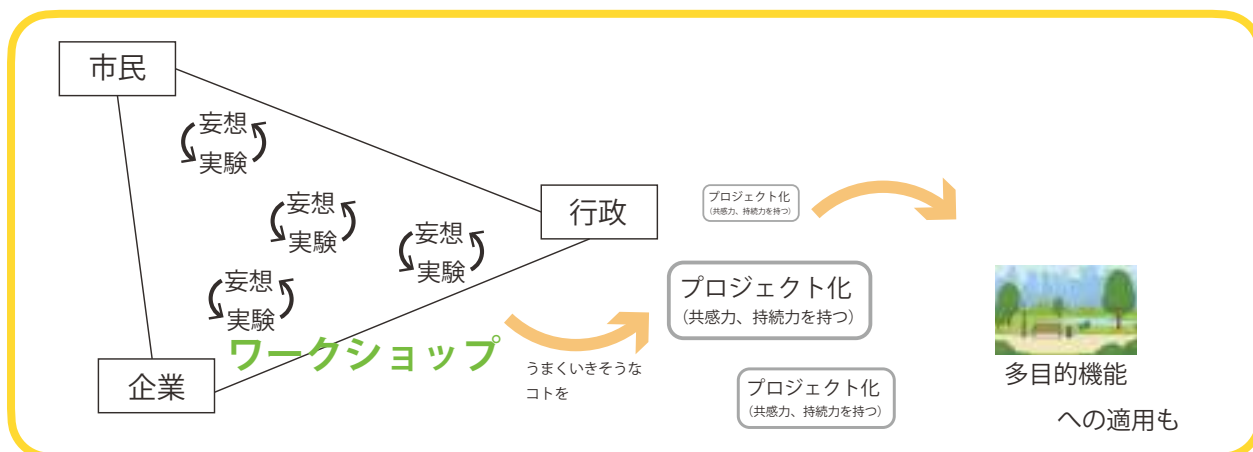
自分もやりたいし、他の人も参加したいと思うようなアクションをトライアンドエラーで探していく
(ワークショップを介して実行)

↓

みんなが楽しいと思えるアクションを無理なく持続的な取り組みにしていくための運営サイクルを考える
(実行したアクションの中からピックアップ)

↓

結果、熊谷ならではの取り組みが生まれ、地域独自のライフスタイルが作られていく。



タクティカルアーバンイズム

世界的な広がりを見せる市民主導の都市改善運動、またその方法論。

社会実験や暫定利用などの「安価で速い、小さな変化」を積み重ねて知見を蓄積しながら、施設の建設や制度設計といった都市計画レベルの「高価で遅い、大きな変化」のあり方に影響を与えることを目的とする。

今回のワークショップの構成と非常に近いことから、参考にしつつ企画を組み立てていければと思います。



交差点への介入（バンクーバー）



ストリートキーププログラム：道路にあるピアノ
（バンクーバー）



フープディードゥー（バンクーバー）



パーキング・ディ：Park(ing) Day
（バンクーバー）

株式会社まちづくり熊谷
〒360-0041 熊谷市宮町二丁目39
代表取締役 大久保和政
電話番号048-501-8855

企画、運営：コトラボ合同会社
〒231-0025 横浜市中区松影町3-11-2
代表 岡部友彦
045-663-3696

KO+O-LAB.

「まちづくり」を、「モノづくり」ではなく、
「コトづくり」からはじめる会社です。